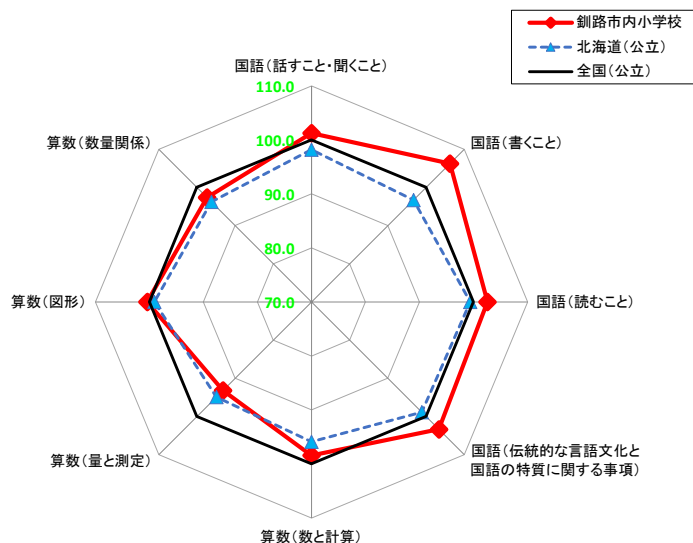


■釧路市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:26校、児童数:1197人)

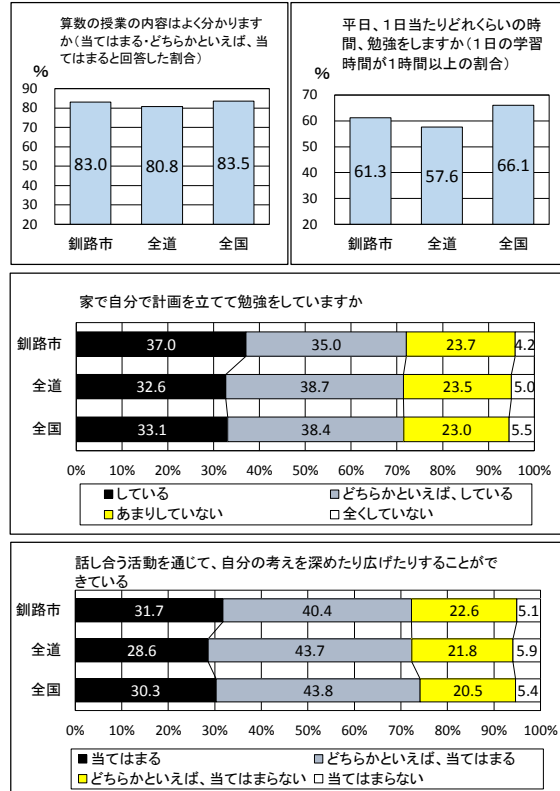
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

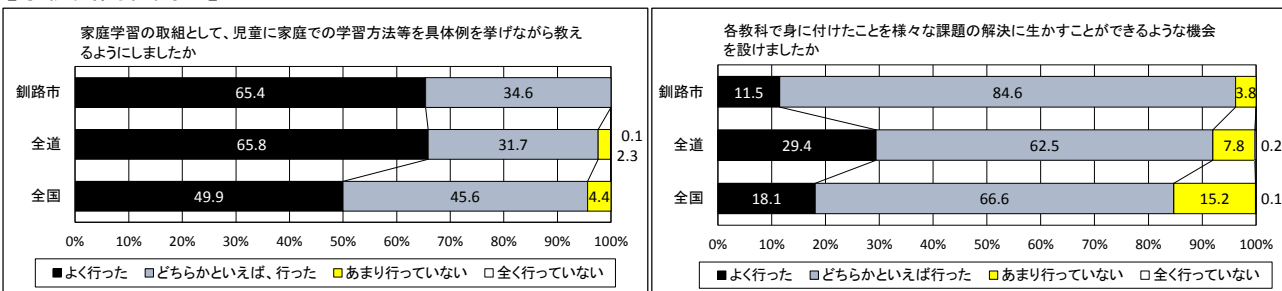
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」において、全国を上回っている。	○ 算数では、「量と測定」の領域で全国及び全道を下回っており、説明を記述することに課題があることから、求め方について説明する活動を設定し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを一層意識した日常的な実践に努める必要がある。
児童質問紙	○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 ○ 「平日、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 児童に家庭学習での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、家で、計画を立てて勉強したり、平日1日当たり1時間以上勉強したりする児童の割合が高くなり、教科の平均正答率において、多くの領域で全国を上回る、または同等となるなどの成果として表れたと考えられる。
学校質問紙	○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と回答した児童の平均正答率が高いことから、全ての教科等を通じて、話し合う場面を適切に位置付け、児童が資料を活用したり、話の組立てを工夫したりしながら、主体的に学習に取り組む資質・能力を育む必要がある。また、身に付けたことを様々な課題解決に生かすことができるような機会を設けながら、活用する力を育てていくことが大切である。

【釧路市の学力向上策】

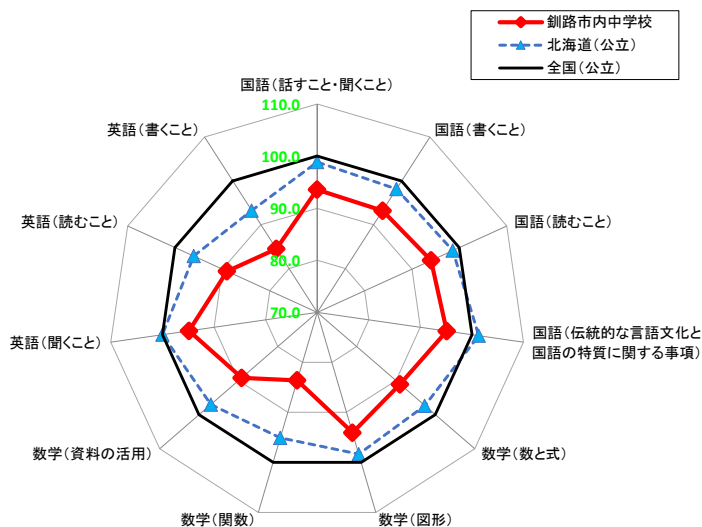
- ◎ 長期休業中の学習サポートの実施及び大学生ボランティアの活用
- ◎ 放課後学習サポートの実施と支援員の派遣
- ◎ 学力向上学習習慣定着推進事業
- ◎ ほっかいどうチャレンジテスト(北海道教育委員会)の活用
- ◎ 釧路教育研究センター研修講座の開催
- ◎ 小中連携研修会の開催
- ◎ 釧路市標準学力検査の実施
- ◎ 基礎学力検証改善委員会の開催
- ◎ 学力向上セミナーの開催
- ◎ 教務担当者研修会の開催
- ◎ 釧路市学校改善プラン(学校教育指導資料)の作成・公表(「釧路市の教育」発刊)
- ◎ 「家庭学習の手引き」の充実と配付
- ◎ 分かりやすい授業の取組(ICTを活用した授業研究及び実践)
- ◎ 生活リズムチェックシートの活用拡大
- ◎ 9年間を見通した学習・生活習慣定着の取組
- ◎ 学習規律(釧路市スタンダード)の提示と実践
- ◎ 「授業改善の視点」の提示と実践
- ◎ 授業進度・時数チェックの実施

■釧路市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:15校、生徒数:1139人)

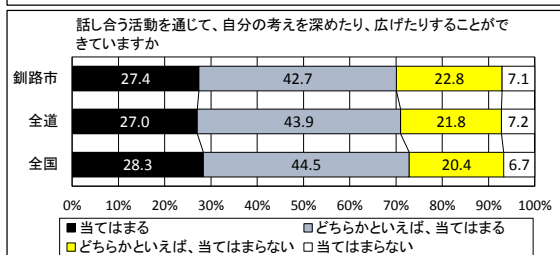
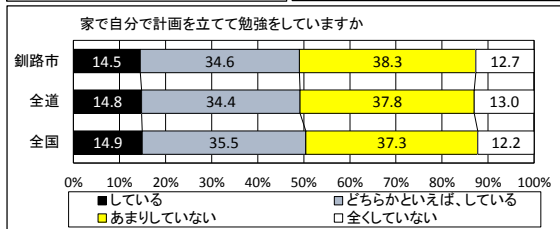
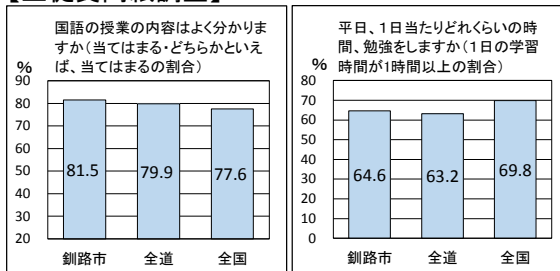
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

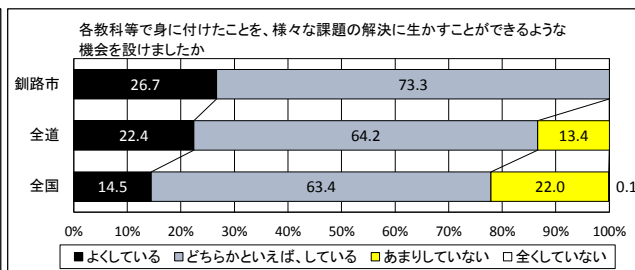
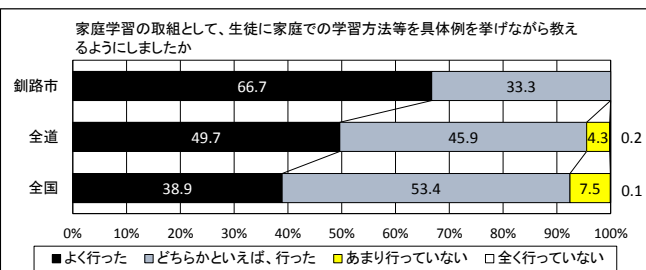
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」において、全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」において、全国に最も近くなっている。	○ 数学において、全ての領域で全国を下回っていることから、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けるとともに、学んだことを十分に生かしながら問題を解決するような学習を充実させること、誤答や途中までの考えなどを意図的に取り上げ、学級全体で考える活動を設定することなど、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を日常的に行う必要がある。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「平日、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全道を上回っている。 ○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全道を上回っている。	○ 生徒に家庭学習での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、家で計画を立てて勉強できる生徒の割合が高くなり、家庭での学習習慣の定着が図られていると考えられる。今後は、各教科等の指導において、家庭での学習課題を個に応じて与えるなど、家庭学習の内容の充実を図る必要がある。
学校質問紙	○ 「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の平均正答率が高いことから、全ての教科等を通じて、話し合う場面や生徒が問題解決の過程を振り返る場面に適切に位置付け、立てた方法の見通しと、問題解決に用いた方法について比較・検討し、うまくいったことなどを場面と関連付けて整理する学習活動を行いながら、主体的に学習に取り組む資質・能力を育む必要がある。また、身に付けたことを様々な課題解決に生かすことができるような機会を設けながら、活用する力を育てていくことが大切である。

【釧路市の学力向上策】

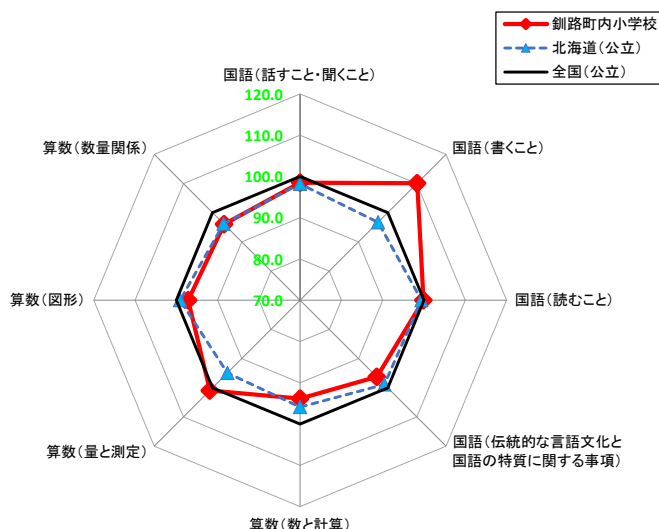
- ◎ 長期休業中の学習サポートの実施及び大学生ボランティアの活用
- ◎ 放課後学習サポートの実施と支援員の派遣
- ◎ 学力向上学習習慣定着推進事業
- ◎ ほっかいどうチャレンジテスト(北海道教育委員会)の活用
- ◎ 釧路教育研究センター研修講座の開催
- ◎ 小中連携研修会の開催
- ◎ 釧路市標準学力検査の実施
- ◎ 基礎学力検証改善委員会の開催
- ◎ 学力向上セミナーの開催
- ◎ 教務担当者研修会の開催
- ◎ 釧路市学校改善プラン(学校教育指導資料)の作成・公表(「釧路市の教育」発刊)
- ◎ 「家庭学習の手引き」の充実と配付
- ◎ 分かりやすい授業の取組(ICTを活用した授業研究及び実践)
- ◎ 生活リズムチェックシートの活用拡大
- ◎ 9年間を見通した学習・生活習慣定着の取組
- ◎ 学習規律(釧路市スタンダード)の提示と実践
- ◎ 「授業改善の視点」の提示と実践
- ◎ 授業進度・時数チェックの実施

■釧路町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:141人)

【教科全体の状況】

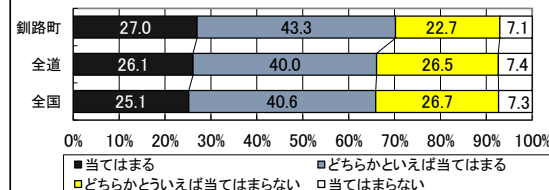
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

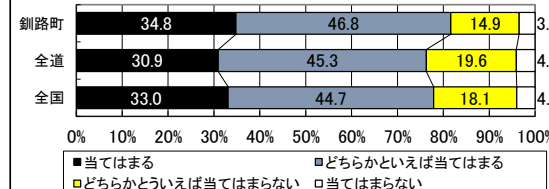


【児童質問紙調査】

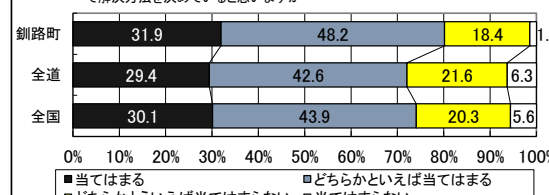
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

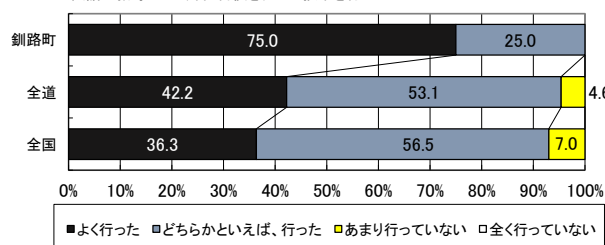


学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか

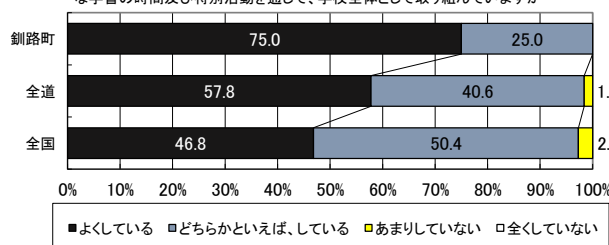


【学校質問紙調査】

国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか



言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語では、「書くこと」において、全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」において、全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

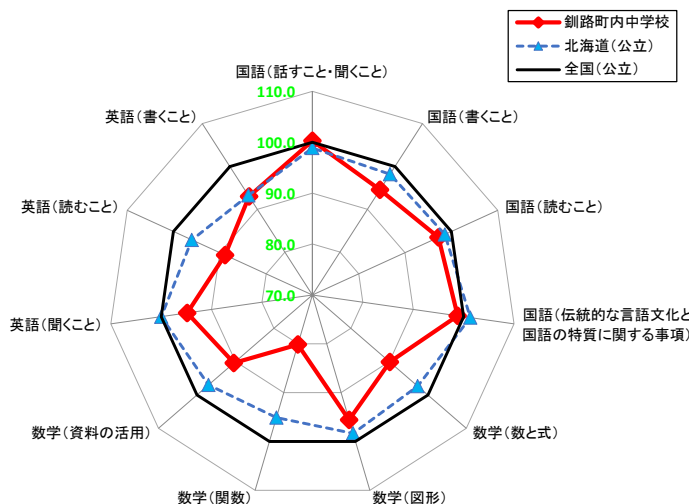
【釧路町の学力向上策】

- ◎ 教師の資質能力を高めるとともに、学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学力向上」の取組の推進
- ◎ 教職員一人一人の指導力の向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 小中が連携した「地域連携研修」「教務担当者会議」「研修担当交流会」などを開催し、9年間を見通した指導方法や指導体制の工夫・改善の取組
- ◎ 学習習慣の確立を図るため、「ノーゲームデー」「我が家の約束づくり」「生活リズムチェックシート」等の学校と家庭が一体となった取組の推進

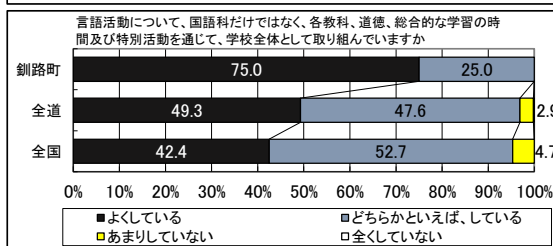
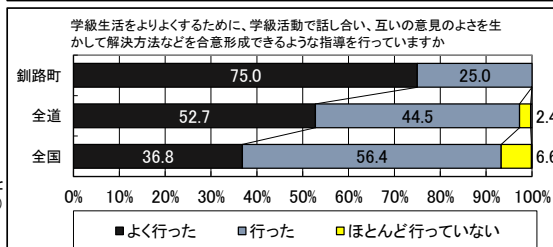
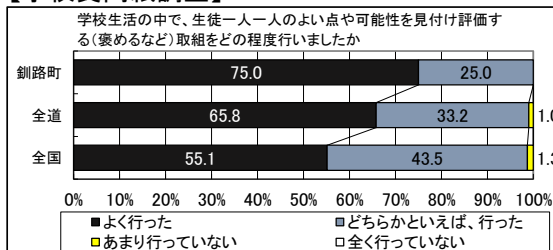
■釧路町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:160人)

【教科全体の状況】

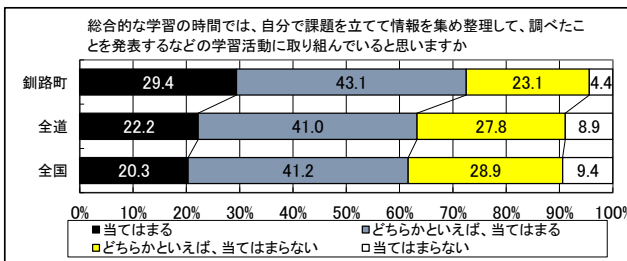
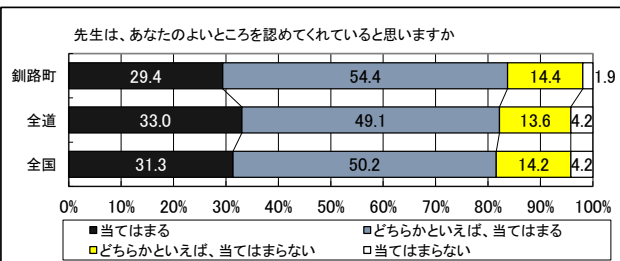
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」において、全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」において、全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」において、全国に最も近くなっている。	○ 各学校が、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行ったことにより、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回り、自尊心が高まってきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校が、国語科に限らず、各教科や道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通して、組織的に言語活動の充実に取り組んだことにより、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通して、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

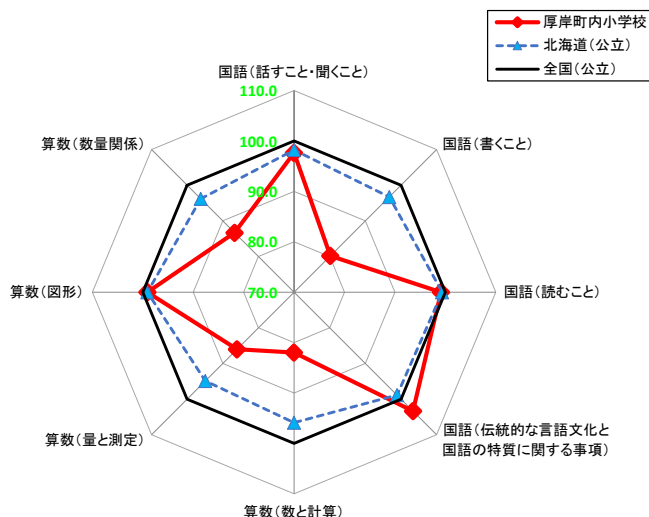
【釧路町の学力向上策】

- ◎ 教師の資質能力を高め、学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学校力向上」の取組の推進
- ◎ 教職員一人一人の指導力の向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 小中が連携した「地域連携研修」「教務担当者会議」「研修担当交流会」などを開催し、9年間を見通した指導方法や指導体制の工夫・改善の取組
- ◎ 学習習慣の確立を図るため、「ノーゲームデー」「我が家の約束づくり」「生活リズムチェックシート」等の学校と家庭が一体となった取組の推進

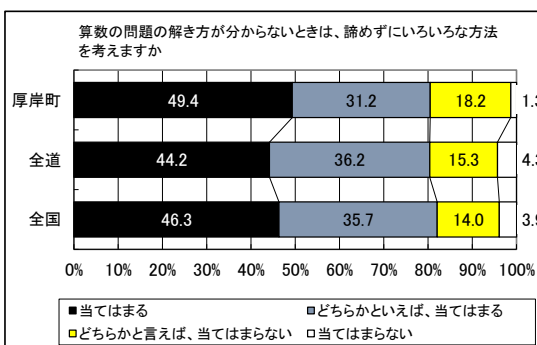
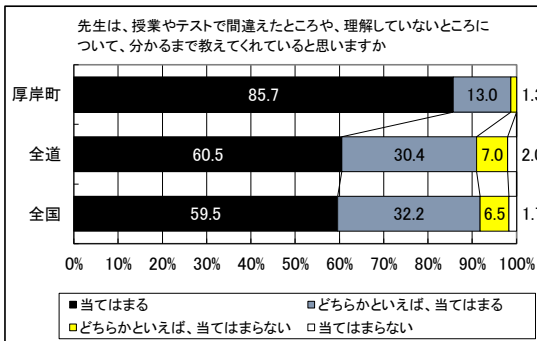
■厚岸町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:77人)

【教科全体の状況】

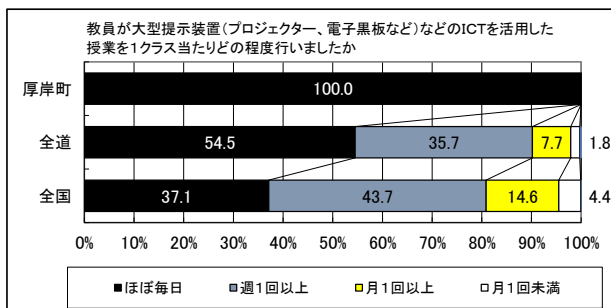
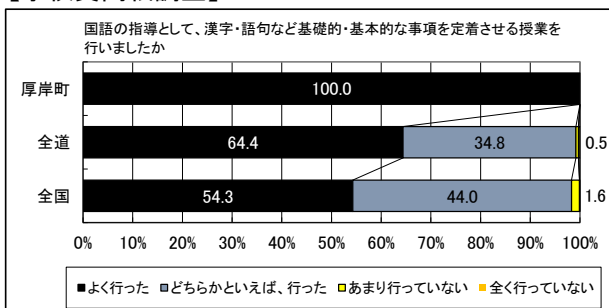
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」において、全国に最も近づいている。	○ 全ての学校が、国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回り、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の学習内容の定着につながっていると考えられる。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 全ての学校が、大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業をほぼ毎日行ったことにより、図・式・言葉などを関連付けて説明する学習が充実し、「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が全国を上回り、算数の「図形」の学習内容の定着につながっていると考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業をほぼ毎日行った」と回答している。	○ 国語の「書くこと」、算数の「数と計算」については、一人一人の児童のつまづきを把握するとともに、習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど個に応じた指導の改善を図る必要がある。

【厚岸町の学力向上策】

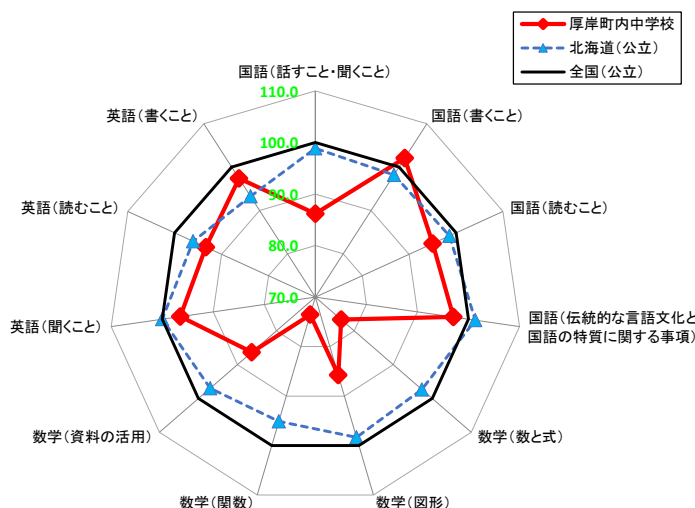
- ◎ 習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど個に応じた効果的な指導の充実
- ◎ 子どものコミュニケーション能力を育む生徒指導の充実
- ◎ ICTを有効活用した授業展開の工夫及びキャリア教育に連動した教育課程の編成
- ◎ 家庭と連携した児童生徒の生活習慣の改善及び情報端末機器等の適切な利用についての啓発

■厚岸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:70人)

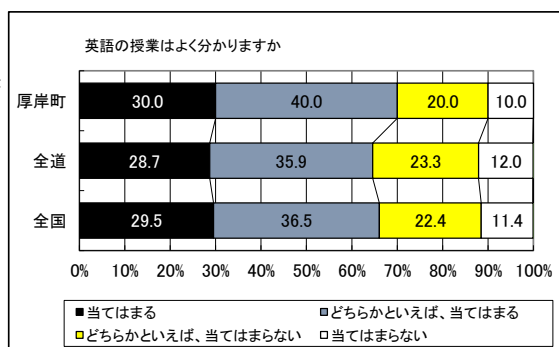
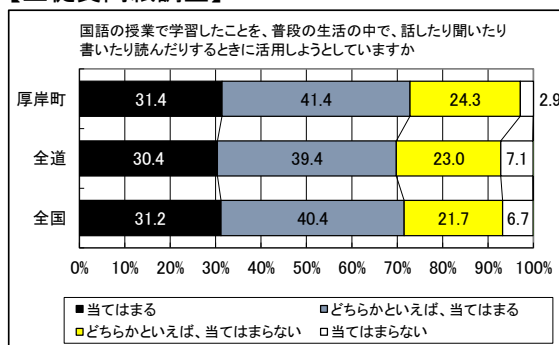
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

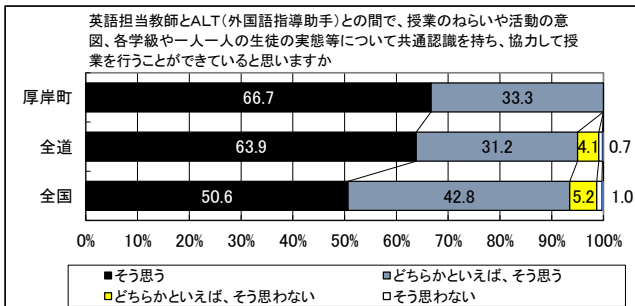
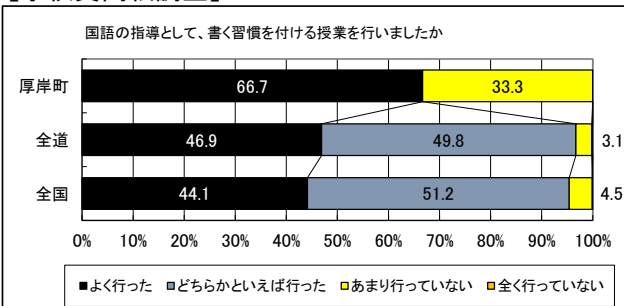
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」において、全国を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」において、全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「書くこと」において、全国に最も近くなっている。	○ 各学校が、国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったことにより、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した生徒の割合が全国を上回り、国語の「書くこと」の学習内容の定着につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校が、英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行ったことにより、「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が全国を上回っていることにつながっていると考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 国語の「話すこと・聞くこと」、数学の「数と式」、「関数」については、一人一人の生徒のつまづきを把握するとともに、習熟度別少数指導やチーム・ティーチングなど個に応じた指導の改善を図る必要がある。

【厚岸町の学力向上策】

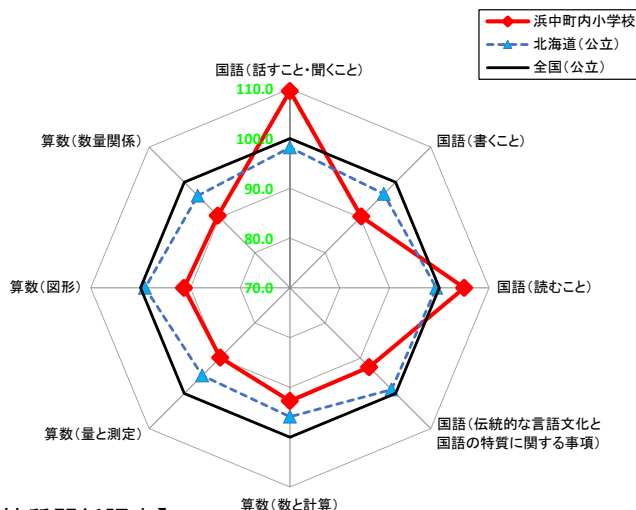
- ◎ 習熟度別少数指導やチーム・ティーチングなど個に応じた効果的な指導の充実
- ◎ 子どものコミュニケーション能力を育む生徒指導の充実
- ◎ ICTを有効活用した授業展開の工夫及びキャリア教育に連動した教育課程の編成
- ◎ 家庭と連携した児童生徒の生活習慣の改善及び情報端末機器等の適切な利用についての啓発

■浜中町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:40人)

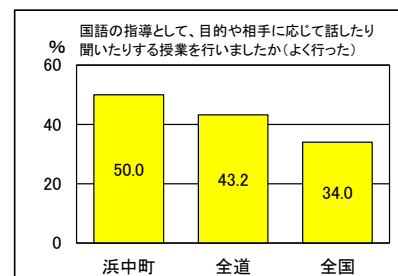
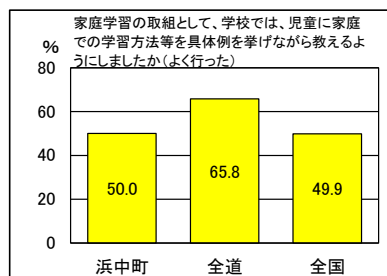
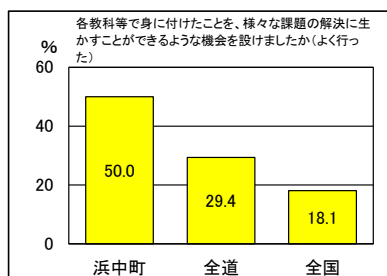
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」において、全国に最も近くなっている。	○ 各学校が、国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、児童は自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫するようになり、国語の「話すこと・聞くこと」の学習内容が定着したと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校が、学習指導において、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校が、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が高くなったと考えられる。

【浜中町の学力向上策】

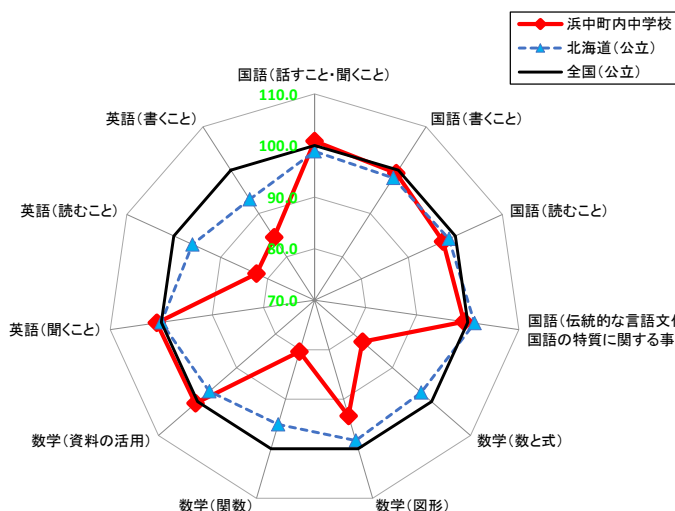
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善の推進
- ◎ 地域の人的・物的資源を積極的に活用し、学校や地域の特色を生かした「ふるさと学習」や体験活動の推進
- ◎ 放課後の学習や長期休業中の学習など、個に応じたサポート学習の実施
- ◎ 学びの連続性を充実させる「保・小・中・高連携事業」による校種間連携の促進
- ◎ 家庭学習の定着、読書の励行などの学習習慣や、「早寝、早起き、朝ごはん」を基本とした生活習慣の改善に向けた学校の取組の充実と家庭との連携強化

■浜中町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:64人)

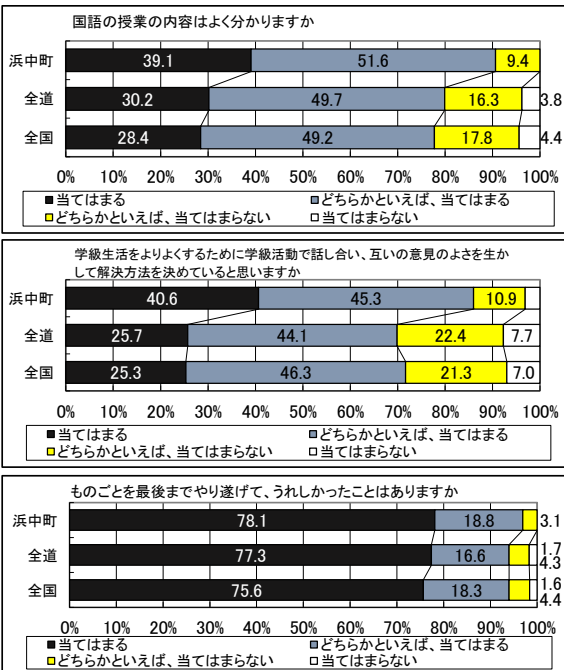
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

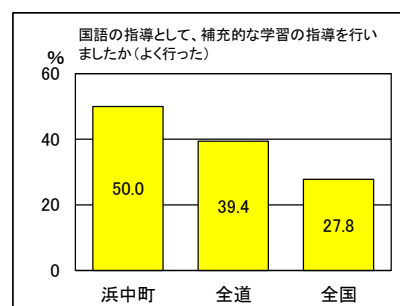
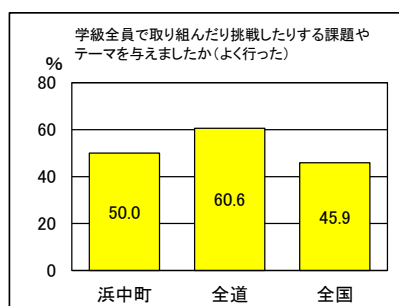
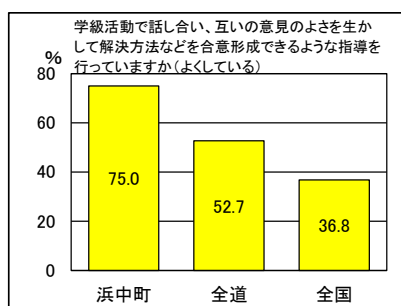
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」において、全国を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」において、全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」において、全国を上回っている。	○ 各学校が、国語の指導として補充的な学習の指導を行ったことにより、生徒は国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の学力の定着につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校が、学級における合意形成を重視した話し合い活動を充実したことにより、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているという生徒の意識の向上につながっていると考えられる。 ○ 各学校が、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたことにより、生徒がものごとを最後までやり遂げることに對する喜びをもつことにつながっていると考えられる。
学校質問紙	○ 「学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【浜中町の学力向上策】

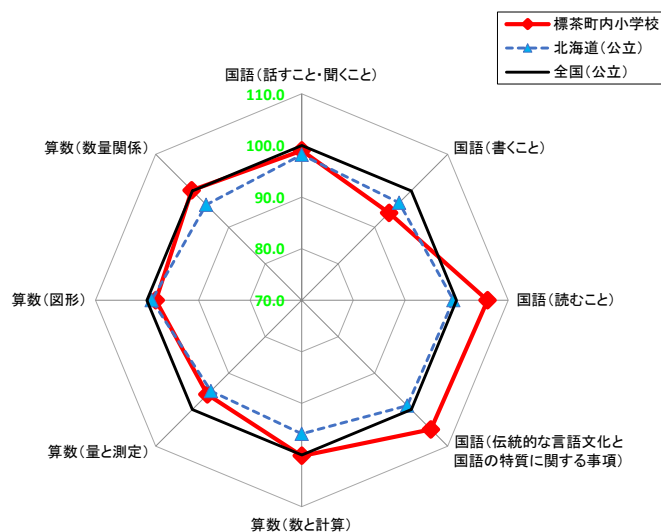
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善の推進
- ◎ 地域の人的・物的資源を積極的に活用し、学校や地域の特色を生かした「ふるさと学習」や体験活動の推進
- ◎ 放課後の学習や長期休業中の学習など、個に応じたサポート学習の実施
- ◎ 学びの連続性を充実させる「保・小・中・高連携事業」による校種間連携の促進
- ◎ 家庭学習の定着、読書の励行などの学習習慣や、「早寝、早起き、朝ごはん」を基本とした生活習慣の改善に向けた学校との取組の充実と家庭との連携強化

■標茶町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:67人)

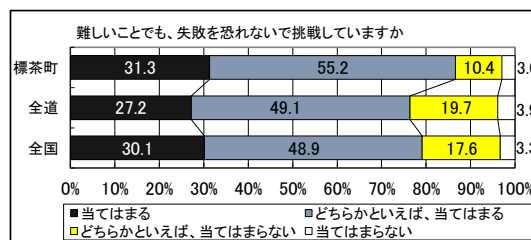
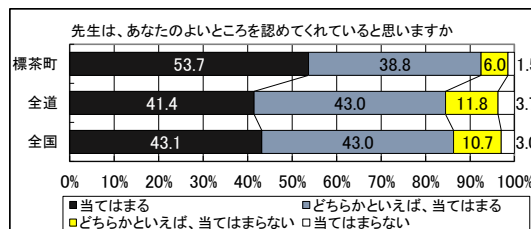
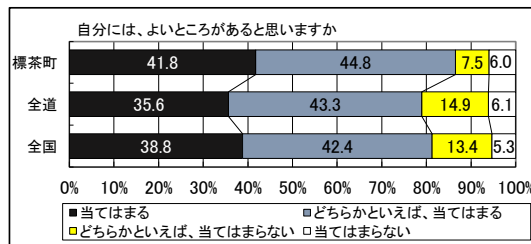
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

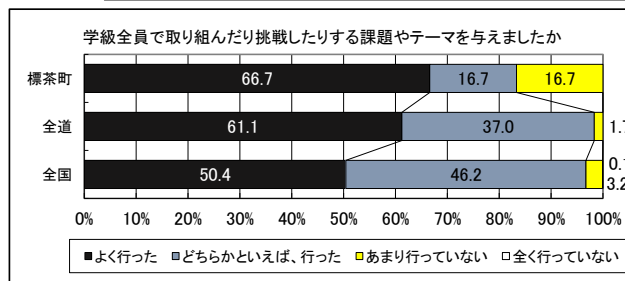
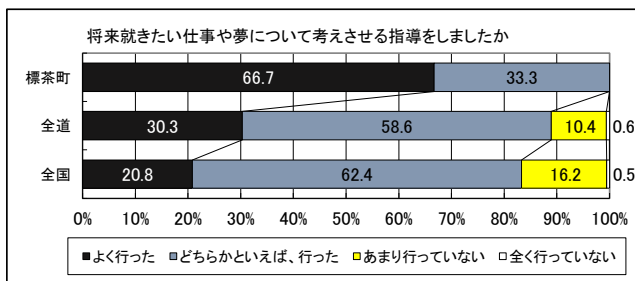
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 - 算数では、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。	各学校が、教育活動全体で、児童を肯定的に捉え、認め、励ますことにより、児童は周りに認められているという安心感をもつことができ、児童の自己肯定感の向上につながっていると考えられる。
児童質問紙	「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	各学校が、教育活動の様々な場面で将来の自分について考えさせたり、児童に課題意識や目的意識をもたせ、協力・協働する活動を位置付けたりすることにより、互いに学び合う態度が養われ、思考力・判断力・表現力等の育成が図られていると考えられる。
学校質問紙	「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	各学校が、教育活動の様々な場面で学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与え、児童が互いに協力し何かを成し遂げる経験を積み重ねることにより、難しいことにも挑戦する気持ちをもち、達成感や就労感を味わうことができるようになっていると考えられる。

【標茶町の学力向上策】

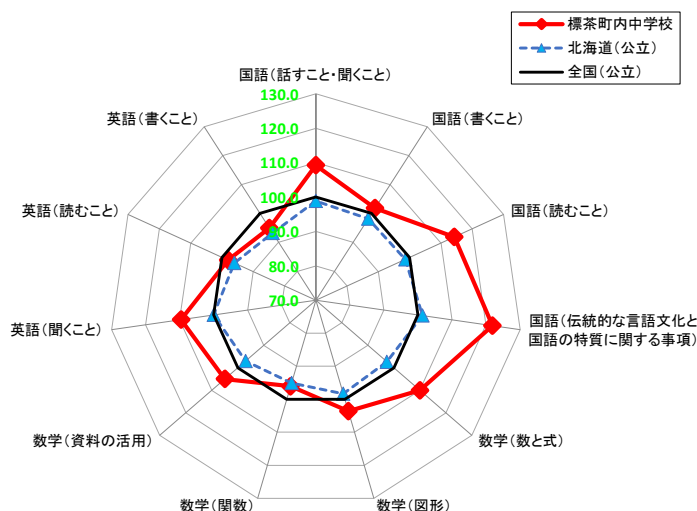
- ◎ 標茶町学力調査の実施
- ◎ 学校改善プラン策定による検証改善サイクルの確立
- ◎ 体験的な学習や問題解決的な学習の充実、実物投影機の効果的な活用
- ◎ 長期休業中の学習サポートに対する学習環境の一層の充実
- ◎ 生活リズムチェックシートを活用した「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進
- ◎ 長期休業期間中における標茶町教員資質向上研修の実施

■標茶町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:63人)

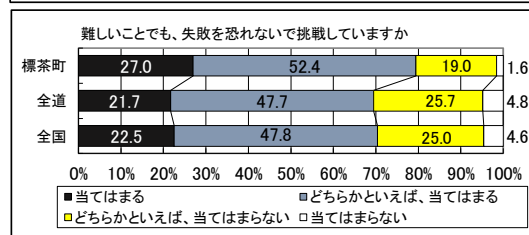
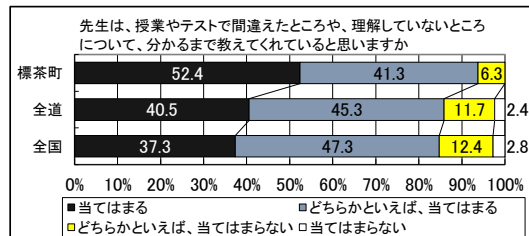
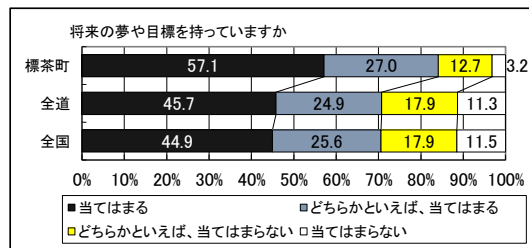
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

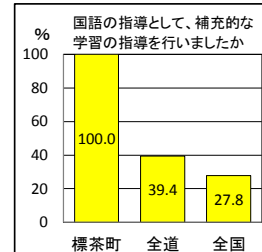
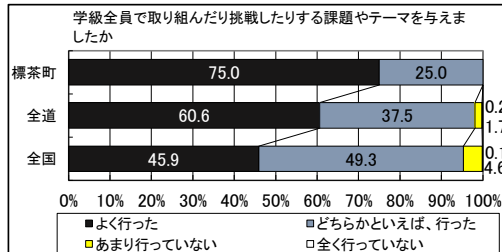
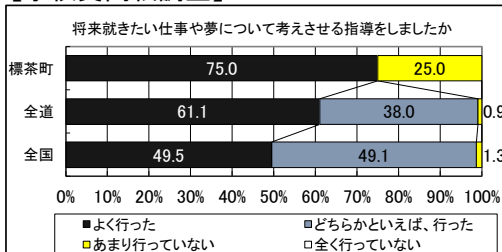
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」において、全国を上回っている。	○ 各学校が、教育活動の様々な場面で将来のなりたい自分について考えさせたり、生徒に課題意識や目的意識をもたせ、協力・協働する活動を位置付けたりすることにより、互いに学び合う態度が養われ、キャリア形成が図られていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校が、各教科の指導において補充的な学習を充実し、繰り返し指導することにより、生徒が納得するまで学ぶことができるようになり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られていると考えられる。
学校質問紙	○ 「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。	○ 各学校が、教育活動の様々な場面で学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与え、生徒が互いに協力し何かを成し遂げる経験を積み重ねることにより、難しいことにも挑戦する気持ちを持ち、達成感や成就感を味わうことができるようになっていると考えられる。

【標茶町の学力向上策】

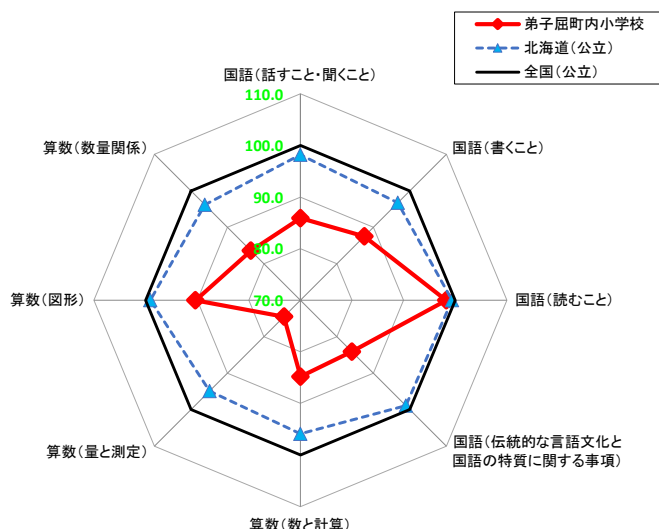
- ◎ 標茶町学力調査の実施
- ◎ 学校改善プラン策定による検証改善サイクルの確立
- ◎ 体験的な学習や問題解決的な学習の充実、実物投影機の効果的な活用
- ◎ 長期休業中の学習サポートに対する学習環境の一層の充実
- ◎ 生活リズムチェックシートを活用した「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進
- ◎ 長期休業期間中における標茶町教員資質向上研修の実施

■ 弟子屈町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:44人)

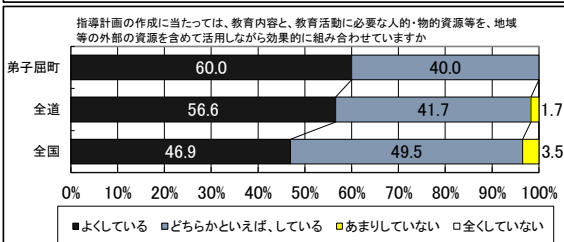
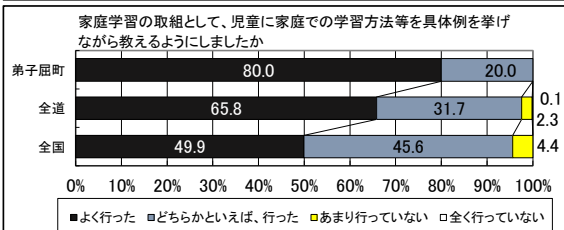
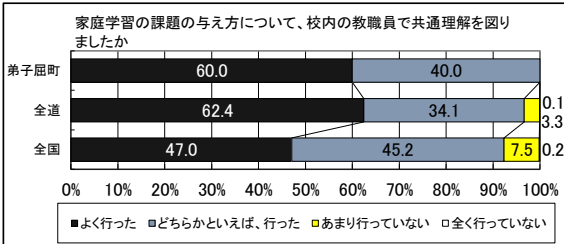
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

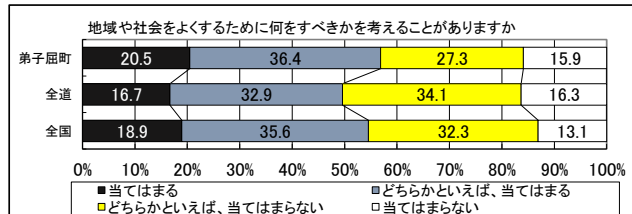
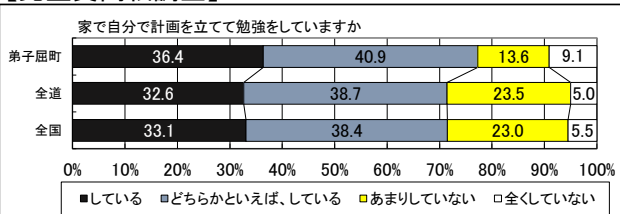
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」において、全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」において、全国に最も近くなっている。	○ 各学校が、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図り、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、「家で自分で計画を立てて勉強する」と回答した児童の割合が高くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校が、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせたことにより、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解をよく図っている」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【弟子屈町の学力向上策】

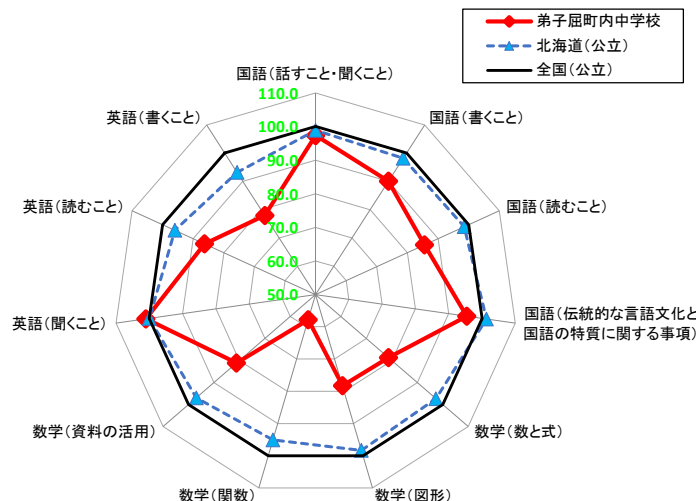
- ◎ 「わかる、できる」を味わう授業づくり～明確な目標の提示と学習規律の徹底、繰り返し指導、「対話的な学び」の工夫等
- ◎ 意欲を高める学習環境の工夫～朝学習や朝読書の実施、放課後学習など補充指導の充実等
- ◎ 家庭学習の習慣が身に付く指導の工夫～学年の段階に応じた家庭学習の内容・方法についての検討等
- ◎ 教職員の資質向上～積極的な公開授業及び公開研究会の開催等
- ◎ 家庭・地域に向けた啓発～町作成の冊子「子どもの成長を願って」の活用等

■ 弟子屈町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:41人)

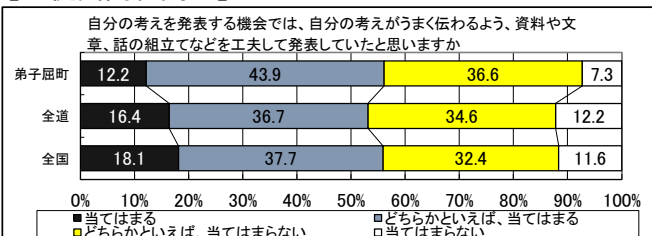
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

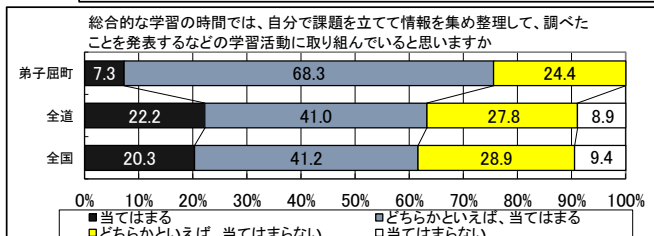
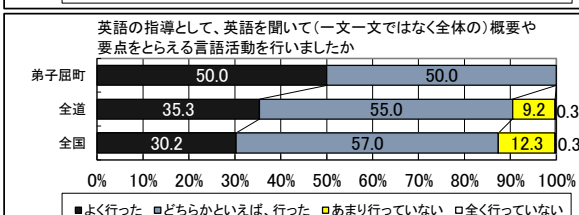
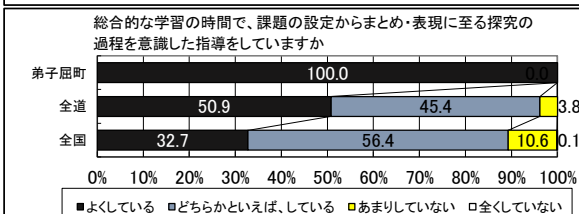
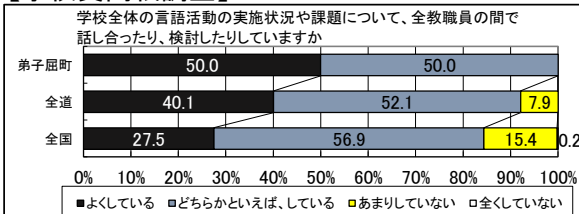
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」において、全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」において、全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」において、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校が、言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、「自分の考えを発表する機会」で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が高くなったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校が、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行ったことにより、「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている」と回答している。 ○ 「英語の指導として、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校が、英語の指導として、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行ったことにより、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。

【弟子屈町の学力向上策】

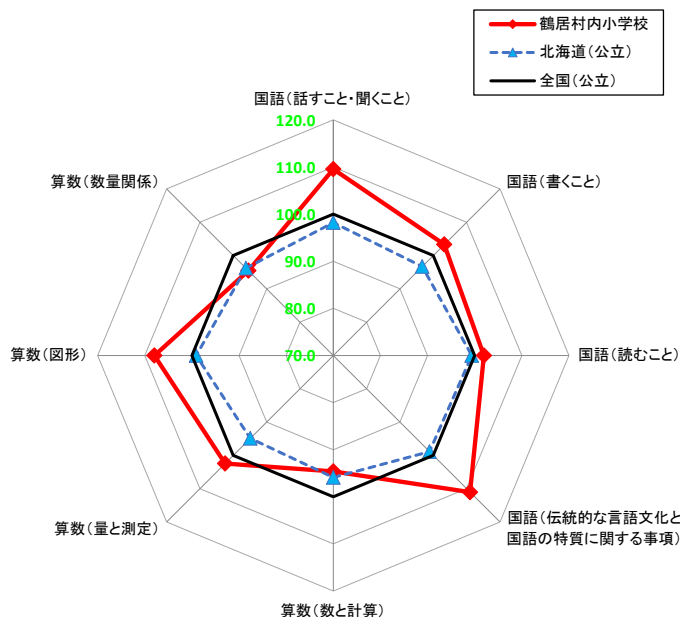
- ◎ 「わかる、できる」を味わう授業づくり～明確な目標の提示と学習規律の徹底、繰り返し指導、「対話的な学び」の工夫等
- ◎ 意欲を高める学習環境の工夫～朝学習や朝読書の実施、放課後学習など補充指導の充実、学習や進路に対する個別相談等
- ◎ 家庭学習の習慣が身に付く指導の工夫～学年の段階に応じた家庭学習の内容・方法についての検討等
- ◎ 教職員の資質向上～積極的な公開授業及び公開研究会の開催等
- ◎ 家庭・地域に向けた啓発～町作成の冊子「子どもの成長を願って」の活用等

■ 鶴居村内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:3校、児童数:32人)

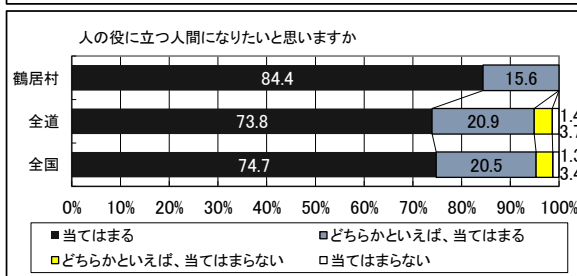
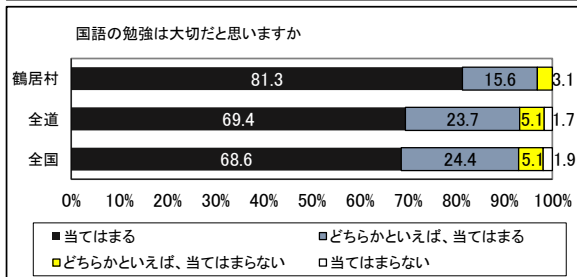
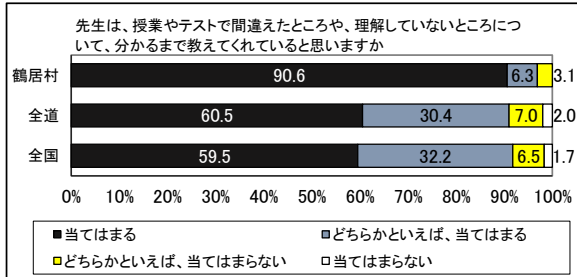
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

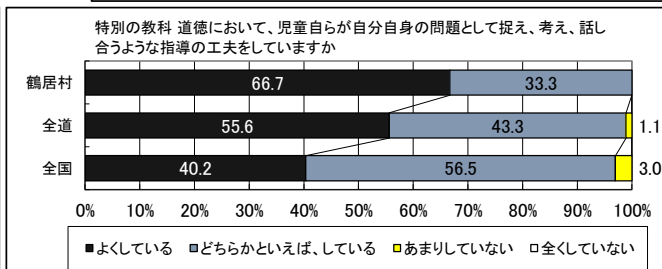
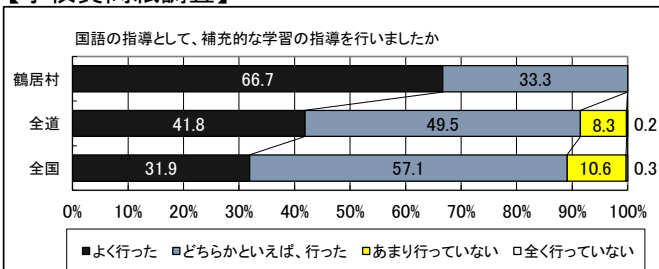
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」「図形」で全国を上回っている。	
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校が、国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合や「国語の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が全国を上回り、思考力・判断力・表現力等の育成が図られていると考えられる。 ○ 各学校が、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしたことにより、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、補充的な学習の指導を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

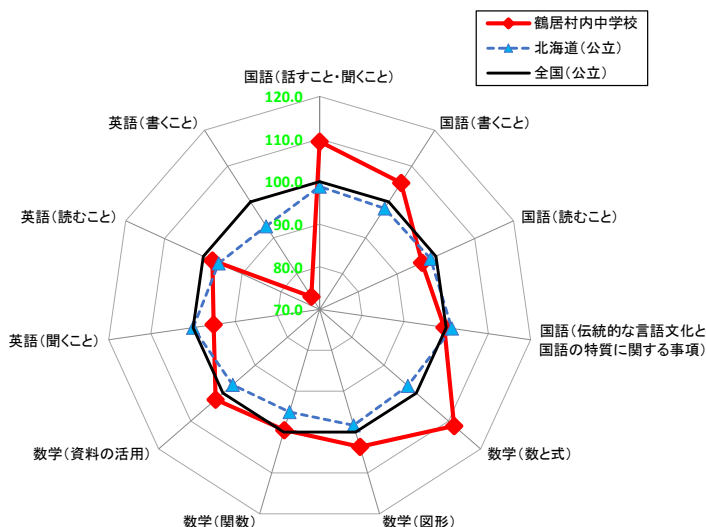
【鶴居村の学力向上策】

- ◎ 各学校の検証改善サイクルの見直し・改善及び教育委員会と学校間の連携を密にした体制の強化による学力向上システムの確立
- ◎ 「各学校における校内研修」と鶴居村教育研究所が連携した教職員の資質向上を図る体制の確立
- ◎ 学校の実態や状況に合わせた家庭と連携した学習環境の一層の充実
- ◎ 児童一人一人に応じた学習支援や児童の実態に応じた学習形態の創意工夫

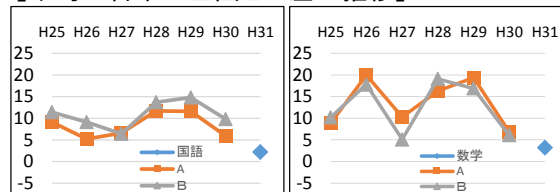
■鶴居村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:23人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

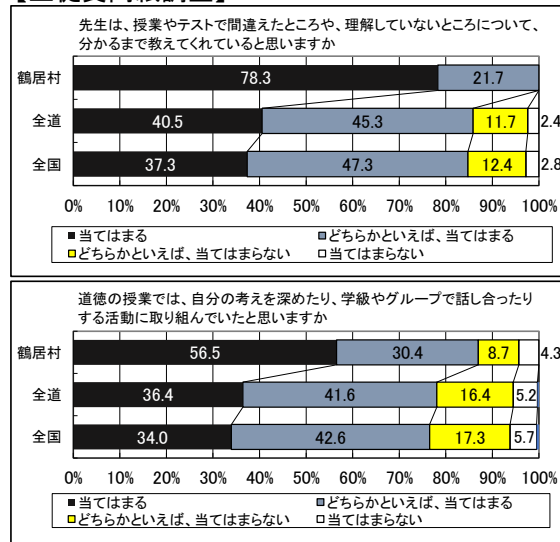


【平均正答率の全国との差の推移】

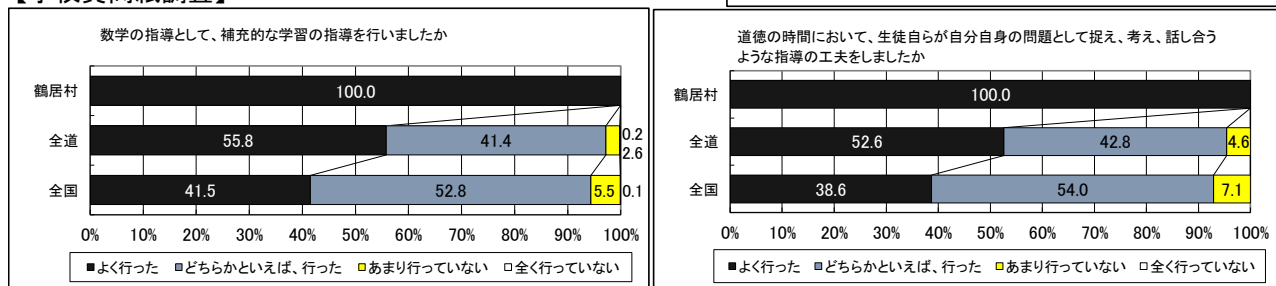


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 - 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 - 英語では、「読むこと」において全道を上回っている。	各学校が、数学の指導として補充的な学習の指導の充実を図ったことにより、「先生は、間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が全国を上回り、思考力・判断力・表現力等の育成が図られていると考えられる。
生徒質問紙	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	各学校が、道徳の時間において、生徒自身が自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしたことにより、「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	- 全ての学校が、「数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行っている」と回答している。 - 全ての学校が、「道徳の時間において、生徒自身が自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をした」と回答している。	

【鶴居村の学力向上策】

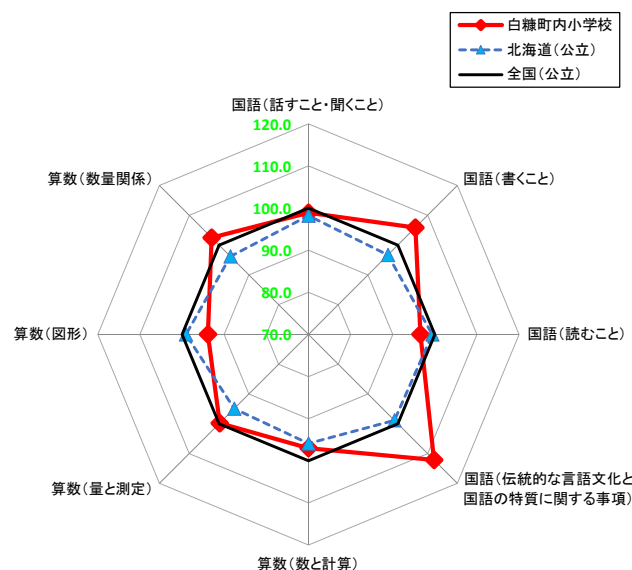
- ◎ 各学校の検証改善サイクルの見直し・改善及び教育委員会と学校間の連携を密にした体制の強化による学力向上システムの確立
- ◎ 「各学校における校内研修」と鶴居村教育研究所が連携した教職員の資質向上を図る体制の確立
- ◎ 学校の実態や状況に合わせた家庭と連携した学習環境の一層の充実
- ◎ 生徒一人一人に応じた学習支援や生徒の実態に応じた学習形態の創意工夫

■白糠町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:41人)

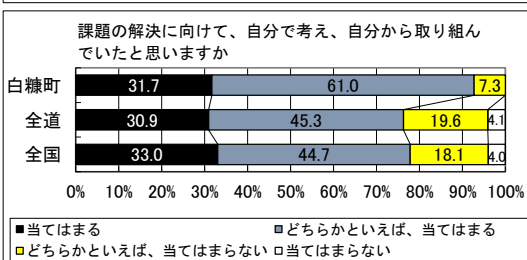
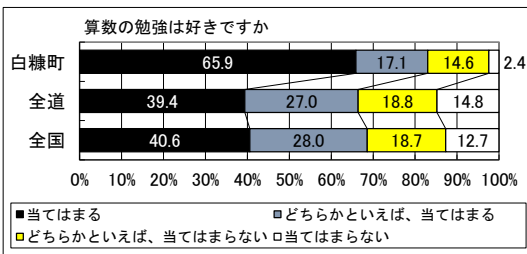
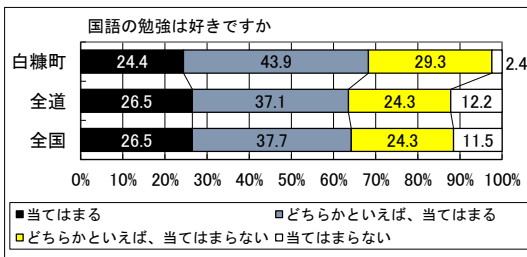
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

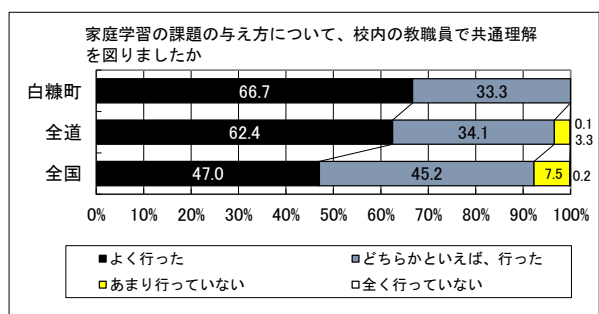
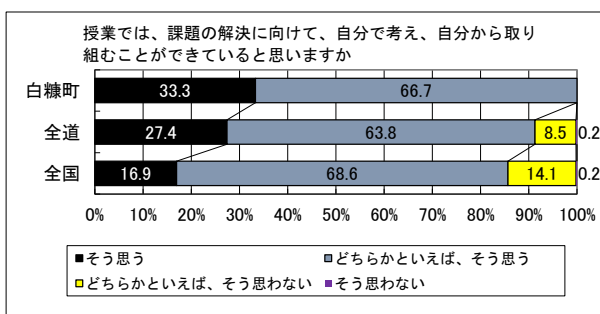
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数量関係」において、全国を上回っている。	○ 授業において、児童の実態に即した課題や日常生活に関わりのある課題等を与えたことにより、学習に対する興味・関心が高まり、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図り、児童の実態等に応じた課題等を与えることにより、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、国語の平均正答率が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【白糠町の学力向上策】

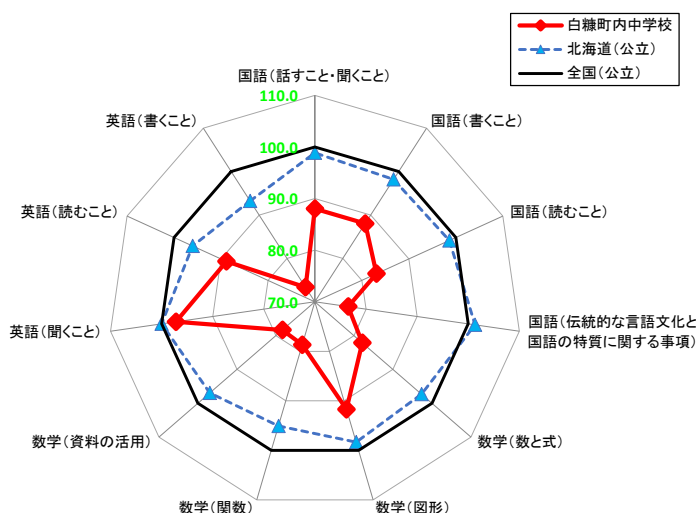
- ◎ 小中一貫教育による、教育課程の接続や学習規律の共有等、教育課程に関する共通の取組の推進及び乗り入れ授業や教科担任制の実施、授業改善の取組の推進
- ◎ 学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標の設定及び達成状況の把握
- ◎ 白糠町地域活性化支援員による低学年児童を対象とした放課後学習サポートの取組
- ◎ 町独自の標準学力調査の実施による実態把握と学力向上に向けた計画の作成

■白糠町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:55人)

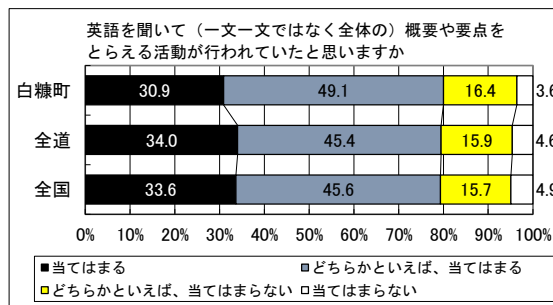
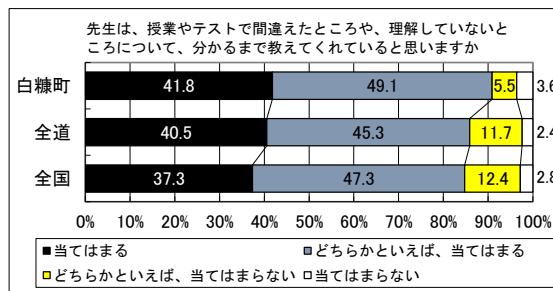
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

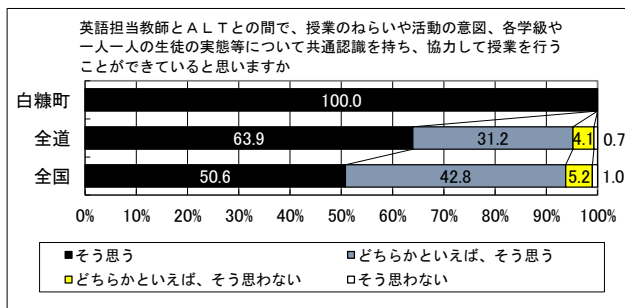
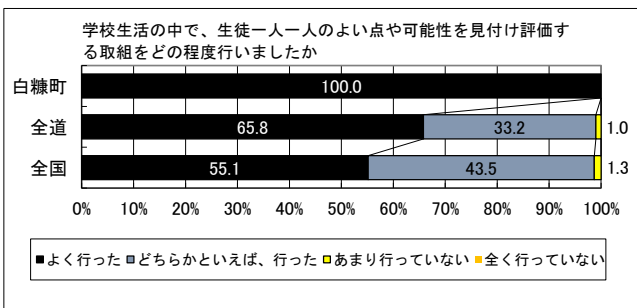
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話す・聞くこと」「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」において、全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」において、全国に最も近くなっている。	○ 全ての学校が生徒に対して、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組を行ったことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 全ての学校が英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行ったことにより、英語の授業において英語を聞いて全体の概要や要点をとらえる活動が行われ、英語の「聞くこと」で全国平均に近づくなど、基礎的・基本的な学力の向上につながっていると考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が「学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が「英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができている」と回答している。	

【白糠町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育による、教育課程の接続や学習規律の共有等、教育課程に関する共通の取組の推進及び乗り入れ授業や教科担任制の実施、授業改善の取組の推進
- ◎ 学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標の設定及び達成状況の把握
- ◎ 授業改善に向けた校内研修サポートの実施
- ◎ 町独自の標準学力調査の実施による実態把握と学力向上に向けた計画の作成